

角田 直也さん（岡山県笠岡市出身）

2014 年度 1 次隊 青年海外協力隊

派遣国：マラウイ 職種：障害児・者支援

2015 年 12 月 20 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 聴覚障害児の指導支援

アフリカ大陸南東部にあり、一部が世界遺産にも登録されているマラウイ湖。そのほとりにあるチンテチェという町に今、住んでいる。世界で最も貧しい国の一つといわれるマラウイ。初めて聞く国名かもしれないが、紅茶やコーヒー、タバコの生産が盛んで日本にも多く輸出している。

マラウイの電気の普及率は10%以下。水道がある家はほとんどなく、井戸水で暮らしている。停電や断水、日照りや突如の豪雨などもある。リアルなアフリカを感じることの連続だが、現地の人は会話を楽しみ、笑顔が絶えない穏やかな生活を過ごしている。

岡山市の特別支援学校で働いていた私の今の職場は、聴覚障害児の学校だ。全寮制で約 90 人の児童生徒が共同生活をしている。常勤の 5 人の教員が担う児童生徒への指導を支援するほか、指導テクニックや聴覚障害児教育の基礎知識も教えている。

マラウイの学校は慢性的な教員不足の上、家庭の農作業や病気による通院のためとして急に休む教員が多く、児童が授業を受けられない現状もある。だが、子どもたちは友達と会話を楽しんだり、正解した問題をみんなに自慢したり。喜びを体いっぱい表現し、生き生きしている。

私は、のびのびと毎日を楽しみ過ごしている子どもたちに元気をもらいながら、マラウイ生活を全力で楽しんでいる。帰国後は、日本の子どもたちに、このアフリカの体験を伝えていきたいと考えている。



夏休みにサイエンスショーを実演する角田さん（右端）